

Nougyou Nouson

# いしのまきNN通信



トヤケ森から望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしくお願ひします。

## 石巻市大川針岡・東松島市宮戸で営農再開



第 2 8 号の目次:



▲ 針岡工区 田植えの様子

石巻市大川地区針岡工区で、全面積となる175haが営農再開可能となり、5月上旬から中旬にかけて針岡工区で田植えが行われました。

針岡工区は、被災によって全面積が営農出来ない状態になっていましたが、平成25年度に13haで営農を再開し、平成26年度に162haで営農を再開したことで、震災後初めて175ha全てで営農再開が可能となりました。

石巻市大川針岡・東松島市宮戸地区で営農再開	1
参議院農林水産委員会が現地視察・意見交換会	2
前谷地小学校 田んぼの学校2014	
復旧農地で試験作付けが行われました	3
自治法派遣による派遣職員 の紹介	4

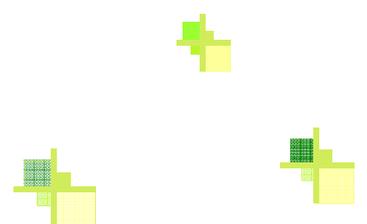
また、東松島市宮戸地区でも、4年ぶりとなる田植え作業が行われました。

今回田植えが行われた18haの農地は、震災によって近くの松ヶ島堤防が壊れ、海水が入り込んでいましたが、平成25年度から26年度にかけ松ヶ島堤防の復旧が進んだため、平成26年度から営農再開が可能となりました。

宮戸地区全体では、およそ80haが被災し、現在でも約51haで農地復旧が進められています。



▲ 宮戸地区 田植えの様子



## 参議院農林水産委員会現地視察・意見交換会

平成26年4月10日、石巻市内において、参議院農林水産委員会による現地視察、及び意見交換会が行われました。

始めに、石巻市稲井の真野大谷地地区にて現地視察が行われました。真野大谷地地区は、東日本大震災の津波、地盤沈下によって浸水しており、平成23年度に比較的軽度の被災だった農地を除塩工事により復旧し、被害の大きい農地については現在も工事を進めています。現地では農林水産委員に対し、当部職員から被害状況や工事の進捗の説明がなされました。

その後、石巻グランドホテルにおいて関係者意見交換会が行われた後に石巻漁港の視察が行われました。石巻漁港では、水産漁港部から荷さばき場の整理などによる市場の整備構想が説明されました。

最後に東松島市の大曲排水機場に立ち寄り、当部職員から被害状況や工事の進捗の説明が行われ、現地視察は終了しました。



▲真野大谷地地区 現地にて



▲当部職員による説明



▲関係者意見交換会の様子

## 前谷地小学校 田んぼの学校2014 田植え

平成26年5月29日、石巻市立前谷地小学校で小学5年生19名によって田植えが行われました。前谷地小学校では毎年、地元農業者の協力の下、3畝ほどの田んぼで手作業の田植えを行っています。

田植え作業は、まず苗を植える間隔を決めるために田植え定規を転がすところから始まりました。児童たちは、田植え定規を2人1組で転がしました。慣れない泥の感触や、2人での作業ということから始めこそ少し曲がったりしましたが、後半はすっかりまっすぐに転がせるようになっていました。

田植え定規で跡を付けた後、いよいよ田植えが始まりました。植えられたのはひとめぼれ、ササニシキ、もち米の3種類でした。田植えが始まる頃には泥の感触も気にならなくなったようで、田植え作業はスムーズに進みました。

今後は、稲刈りや天日干し、脱穀作業も行われる予定です。



▲田植え定規を転がします



▲田植え定規の跡に苗を植えます



▲田植えが終わった田んぼ

## 被災地区において試験作付けが行われました

平成26年度、下記の3地区において、復旧に向けた試験作付けが行われました。

### 石巻市大川地区 長面工区

平成26年6月5日、石巻市大川地区 長面工区で来年度以降の営農再開に向けた水稻の試験作付けが行われました。

長面工区は震災による地盤沈下や津波の影響で、全域で浸水していましたが、平成24年11月に干陸化を完了した170haのうち、0.24haで試験ほ場が設置されました。

被災地における生育状況のデータを取るため、今後、地下水位や塩分濃度などの状態と生育状況について調査が行われます。



▲長面工区 試験作付けの様子 (H26.6.5)

### 東松島市野蒜地域 洲崎地区

平成26年6月5日、東松島市野蒜地区 洲崎地区で来年度以降の営農再開に向けた水稻の試験作付けが行われました。

洲崎地区は震災による地盤沈下や津波の影響で浸水していましたが、平成25年9月に一部干陸化して以来、平成26年6月に干陸化が全て完了しました。

洲崎地区も長期にわたり浸水していたことから、試験ほ場の生育状況から塩害の発生やその対応策、浸水した農地が生育にどのような影響を与えるのか等の調査が行われます。



▲洲崎地区 作付け後試験ほ場の様子 (H26.6.5)

### 東松島市宮戸地区

平成26年6月16～17日、東松島市宮戸地区で来年度以降の営農再開に向けた畑作物の試験作付けが行われました。

ネギ、アスパラガス、サツマイモの3種類が試験作付けされました。

宮戸地区は約80haあった農地全体が津波により被災しています。

現在、地盤沈下や津波の浸水が復旧農地の作物にどのような影響を与えるのか、調査が進められています。



▲宮戸地区 ネギの作付けの様子 (H26.6.17)

## 災害復旧支援の自治法派遣職員のみなさん

平成23年9月1日より、地方自治法の規定に基づき、災害復旧支援のため県外から自治法派遣職員の方々に応援に来て頂いております。

現在、当部では愛知県4名、兵庫県3名、岡山県2名、徳島県2名、島根県1名の方が応援に来ています。また、これまでに三重県、佐賀県の職員の方も応援に来ていただきました。

当部では、自治法派遣職員のみなさんと協力し、農地・農業用施設の災害復旧業務に取り組んでまいります。



▲愛知県から派遣の職員(7月)



▲兵庫県から派遣の職員



▲岡山県から派遣の職員



▲徳島県から派遣の職員



▲島根県から派遣の職員



▲現地での復旧・復興活動の様子

一日も早い災害復旧と  
地域復興をめざして



**宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部**  
(編集：農村振興班)

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内) 489 Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>